

認定こども園 みどりがおかようちえん

やっぱり！モノよりヒト。成果より過程。

保育環境づくりのポイント

『人とのつながり』、『環境整備の継続』を軸に、「環境整備や作ったものに愛着を持つ」ことをテーマにスタートしました。そのために、「安心安全を保つための点検のやり方を決める」、「現場からの声をもとに、生活や遊びの中で必要なものを作る」、「園内外の人や環境と関わりを持つ」など、やり方を決めたり、人との関わる場面を作ったり、多面的に考えてきました。

何を作るか、どんなことをするかに目が行きがちだけれど、**環境整備に関わっている人たちとどんな過程があったのか、どんなことに心が動いたのか**を大事にしたいです。それが、これからも環境整備をみんなで続けていく原動力になっています！

～こどもたちのこの力を育みたい～

- ☑感じる・気付く力
- ☑うごく力
- ☑考える力
- ☑やりぬく力
- ☑人とかがわる力

取組み内容

安心・安全を“維持”していく

“3(み)のつく日”に室内・戸外・廊下など手作りの遊具をリスト化して点検・メンテナンスしています(昨年度から継続)。

また、月1で園内ワークショップを開催。「これがあつたらいいな～」と、先生たちから声が上がるように、遊びや生活の中で必要な物を作っています。

こまの収納台づくり



年少さんの水筒かけ



遊具の点検中... やすりをかけ、磨れ、ぐらつきなど見ています。

試行錯誤の姿を見てもらおう！

“環境を進化させていくこと”と“保育の方針や方法を振り返ること”の両輪で試行錯誤している中での“保育を語る会”(乳児公開保育)を開催しました。子どもたちの姿を通して、日々の色んなことを保育者同士でフランクに話せる機会が素敵だと思いました！参加者の方には保育環境だけでなく、保育者の関わりや日々のねらいなどにもたくさん目をむけていただき、語り合う機会となりました。



人とのつながり

ワークショップ 園庭で静の動きを受け止める

8月のワークショップでは、ウッドデッキと植栽場所を作りました。「気持ちにやり場が無くなると外に飛び出してしまう子たちの居場所って?」「夏は暑くて日影が欲しい...」など、職員から思いがあふれていました。子どもも、大人も居心地のいい場所ができました！



ウッドデッキこの位置でいい? と相談中...

植栽場所づくり



できたー！ ぽつぽつといき



あともう一息！ 床板はりをみんなで見守っています

環境整備を通じた出会い

北海道、神奈川、愛知、兵庫、富山など、様々な園に職員が行きました。環境を見ることはもちろんですが、各園の先生と悩みや経験したことを「あーでもない、こうでもない」と本音で話したり、共感し合ったり...。「なんだ、うちの園が悩んでる事って、これで大丈夫なんだ」「訪問先の園のここ！うちならこうしたいな!」とアイデアや安心感をたくさんもらいました。



さくらいようちえん



認定こども園 つみき

<今回の取組みを通して>

「よし!」と手ごたえを感じることもありつつも、悩みは尽きないもの。子ども・職員・保護者には、毎年、いえ、日々変化はあるからこそ、『なぜ環境整備をするのか?』という思いを伝え続けていく大事さと、その難しさを実感します。

園内で困ったことがあるたびに、思いがすれ違ったり、「発信が足りなかった?」「私たちの力不足?」とたくさん悩みました。

たくさん悩んだ果てに、やっぱり、「うちの園でどんな子どもたちが育ってほしいか」という問いに戻ってきました。他園に見学に行ったり、来ていただいたり、園内外で話し合いを深める中で戻ってきた視点です。いつも、色々なことに気づかせてくれるたくさんの出会いに感謝です。

担当者 半田 彩佳

